

自民党



古川 智子 議員

質問1

水防法指定による集落内開発厳格化に関して

想定浸水深を基準とした規制強化による建築費増を懸念する。地域維持のため、既存建築を含めた支援実施を。

答弁

市域全体で浸水リスクの高い地域にある家屋を対象に施策の検討を進めており、引き続き、支援制度の検討を深めていく。



質問2

西南部の産業拠点形成と官民での防災力強化

城山・砂原IC周辺の産業ゾーン設定に伴い、積極的な企業誘致と避難機能の整備を一体で進める戦略を求める。

答弁

両地区は広域交通面で優位性があるものの、災害リスクもあることから、企業には防災面での地域貢献を積極的に促していく。

自民党



村上 磨 議員

質問1

プレミアム商品券の混乱をどう総括するか

市民の間で混乱や不公平感が生じた今回の物価高対策への市長としての認識、今後の改善方針について問う。

答弁

今後の物価高騰対策においては、公平でわかりやすく、効果を実感できる支援策を検討し、市民の皆さまへ丁寧な周知を行う。

質問2

農地も太陽光も必要としない新農業の可能性

食料安全保障とGX^(※6)の観点で、本市の完全閉鎖型植物工場への認識、国や民間の動きに対する関与の可能性を問う。

答弁

食料安全保障を補完する新たな農業形態の一つになりうることから、導入の有用性について研究していく。



- デマンドタクシー(※1) …… 路線バスなどの停留所から離れた公共交通空白地域などにおける、日常生活に必要な移動を支えるための予約制の乗合タクシー。
- キャリア教育(※2) …… 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく教育。
- TNR(※3) …… 野良猫を捕獲し(Trap)、不妊・去勢手術を行い(Neuter)、元の場所に戻す(Return)活動。繁殖を制限することで、殺処分減少と地域トラブルの解決を目指す取り組み。
- リフレクティング(※4) …… 相手の話の内容や感情、価値観をそのまま受け取り、自分の解釈を加えずに言葉として返すことで、相手の理解と気づきを深めるコミュニケーション技法。
- ヤングケアラー(※5) …… 本来大人が担うと想定されている家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められるこども。
- GX(グリーントランスフォーメーション)(※6) …… 脱炭素・エネルギーの安定供給・経済成長を同時に実現することを目指して、産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をグリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革する取り組み。



予算決算委員会の審査概要


全議員で構成する当委員会では、令和8年度当初予算、令和7年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧いただけます。




総括質疑 (3月10日、3月11日)

自民党

- 質問1 予算と経済性を踏まえた予算組みについて**
予算は、社会経済動向に連動した行政需要を基軸に編成すべき。上程されている予算は、全て社会経済動向に準じた予算となっているか。
- 質問2 夢と活力ある農業推進事業**
自然災害の頻発など生産者に厳しい環境の中で効率化の支援は不可欠。独自事業の強みを生かし支援メニューの充実を要望。

- 質問3 空き家等対策事業**
空き家の増加は地域コミュニティの衰退など市民生活に直接係る非常に重要な課題である。これまでの対策の成果と今後の取り組みは。
- 質問4 SSW^{*}及びSC^{*}の配置事業**
不登校児童生徒は、過去最多を更新し、SSW、SCの役割は重要。8年度予算は前年同規模であるが社会経済情勢を考慮し増額すべきではないか。
※SSW…スクールソーシャルワーカー、SC…スクールカウンセラー
- 質問5 ふるさと応援寄付金推進事業**
ふるさと納税受け入れ額は増加しているが、他都市への寄付も増加し収支は赤字になっている。寄付金増加の具体的な対策を。
- 質問6 宿泊税関連事業の取り組み**
観光都市としての魅力を高める財源として、7月1日から徴収が開始され、年間で約8億円の税収が見込まれる新財源。現状の課題および今後の取り組みについて。
- 質問7 新庁舎整備に係る概算事業費**
新庁舎整備に係る概算事業費について「庁舎整備に関する特別委員会」において議論されているが、改めて大西市長の考えを問う。
- 質問8 予算決算委員会説明資料に記された事業内容について**
「ホームページ関連経費」「新庁舎整備推進経費」「音楽隊経費」および「熊本地震10年関連事業」の区ごとの予算差について、増減理由と事業内容の整合性を確認。
- 質問9 予算決算委員会説明資料における区分の拡充表記について**
「避難行動促進関連経費」「指定避難所等機能強化事業」「電子自治体推進経費」について、予算減額にもかかわらず「拡充」とされた理由を質す。

- 質問10 予算関連資料について**
議会審議資料としての位置付けを確認するとともに、資料のみでは事業内容や増減理由の把握が困難な項目が多く、事前確認を要する状況を踏まえ、情報量の充実や記載内容の明確化など、分かりやすさの観点から改善の必要性を指摘。
- 質問11 防災に関する取り組み**
車中泊避難について、これまでの議会答弁との整合性を質すとともに、マニュアル策定にとどまらず、実装・運用を見据えた継続的な取り組みの必要性を指摘。
- 質問12 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金**
可能な限り公平性を保ち、広く市民に行き渡る施策の観点から、水道普及率97%を踏まえた水道基本料金減免を提案し、早期実施を含めた具体的な対応を市長に問う。

熊本自民

- 質問1 当初予算(案)の概要、廃止・縮小された事業について**
廃止・縮小された事業の総額と、内訳・見直しの判断基準は。
- 質問2 災害への備えと対応力の強化関連予算の全体像**
令和7年8月豪雨による本市被害総額と本市独自の災害対策強化策の検討は。

- 質問3 当初予算(案)の歳入予算の内訳の譲与税等について**
地方特例交付金、軽油引取税交付金、地方消費税交付金の増減の要因、国提示内容、算出根拠、今後の見通しは。
- 質問4 市債について**
市債と市債残高通常分の増加要因と臨時財政対策債残高減少の理由は。
- 質問5 体育館等空調設備整備の詳細**
財源内訳、国の制度・起債の種類、制度開始年度は。
- 質問6 新庁舎整備の推進について**
基本設計に進む当初予算を認めるため、市民が納得する説明を求める。
- 質問7 ごみカレンダー作成経費の見直し**
対前年度削減額が857万6千円、削減の詳細は。